

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・情報ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編 地学基礎(数研出版)				
副教材(出版社)	改訂版リト ^α Light ノート地学基礎(数研出版)、三訂版リト ^α 地学基礎(数研出版)				
授業の概要	地球がプレート ^α の運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたこと、宇宙と惑星としての地球の特徴、地球環境と人間生活とのかかわりについて学習する。				
授業の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	序編 惑星としての地球 第1編 活動する地球 第1章 地球の構造 第2章 プレートの運動 第3章 地震と地殻変動 第4章 火山 第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成 第2章 古生物の変遷と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球の形・大きさの測定の仕方や構造などについて、スケールも含めて理解する。 プレートの運動について学び、火山活動と地震活動が総合的に一つの仮説にまとめられることを理解する。 地震の性質と地殻変動について理解を深める。 火山活動と、その結果として形成される岩石について学ぶ。 太陽エネルギーと重力がどのように地形の変化や堆積作用にかかわっているかを学ぶ。 地球と生命の関係の理解を深める。 		
	2 学期	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海水の運動 第4編 地球の環境 第1章 地球環境の科学 第2章 日本の自然環境 第5編 宇宙の構成 第1章 太陽と恒星 探求活動	<ul style="list-style-type: none"> 大気圏の構造と、地球の熱収支について理解する。 海洋も大気の運動と同じように熱収支のバランスにとって重要であることを理解する。 時間スケールの大きな現象を考える場合は、全地球的にとらえることが必要であることを理解する。 日本の自然環境の特徴と、そこで起こる災害を理解する。 太陽のエネルギー源や構造、太陽の活動のようすなどについて学ぶ。また、恒星の進化の過程や時間的なスケールを理解する。 		
	3 学期	第2章 宇宙のすがた	<ul style="list-style-type: none"> 太陽系の天体に関して、系統的に学習し、理解を深める。 ビッグバンによる宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。 		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
	身近な自然事象について興味と関心をもちながら、積極的な態度で授業に取り組むことができる。	簡単な仮説をあげ、その処理実験と対照実験を考えることができる。	実験計画に沿った観察・実験の実行と結果の整理を行う。 実験器具の操作やデータ処理を適切に行うことができる。	学習内容について理解を深めることができる。 観察実験で得られたデータをもとにして関連する知識を整理できる。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				